

取り組み状況(令和2年7月時点)

現在までに、鉄道高架橋建設工事に支障となる九州電力送電線等の各種支障物件の移設工事や、鉄道仮線に必要な土地の確保、及び工事による影響を調べるための周辺建物の事前調査を行ってきました。また、平成23年4月19日から鉄道高架橋建設工事を本格的に開始し、平成26年3月22日には仮線への切替を行いました。

今後も、令和4年度の高架切替へ向け、鉄道高架橋建設工事を進捗させていきます。



(福岡市境～春日原駅)
高架橋の建設が進んでいます。



(春日原駅周辺)
駅部北側で令和元年度に春日原駅のホーム下から想定外の支障物(基礎コンクリート等)が見つかり撤去作業に時間を要していましたが、令和2年夏までにすべての撤去が完了する予定です。支障物の撤去が完了したところは、杭打ち機で杭基礎を施工し、その後順次高架構造物を建設していきます。



(春日原駅やや南側)
この区間は先行して高架橋の上部を建設しており、現在の線路の上空に将来の線路が作られています。



(春日原6号踏切)
令和2年6月から、県道那珂川大野城線の春日原6号踏切部により上部工架設が進められています。



(春日原6号踏切から大牟田方面)
高架構造物の建設が進んでいます。白木原駅の建築工事が令和2年7月から始まりました。



(下大和駅)
旧駅舎跡に新駅舎の建設が進められています。



(白木原駅～下大和駅)
高架上の軌道工事が進められています。



(白木原駅～下大和駅)
仮線切替後、元の線路があった箇所で、高架橋の建設を進めています。